

# 日本語指導学習指導案

〇〇市立〇〇小学校 日本語指導担当 〇〇 〇〇

1 日 時 2009年12月14日(月) 13:50~14:35

2 場 所 〇〇小学校 会議室

3 領 域 ことば

単元名 「よう日の かん字を おぼえましょう」

## 4 単元の考察

### (1) 児童の実態(2名)

A児 第1学年 国籍(ベトナム) 母語(ベトナム語) 在籍年数(8ヶ月)

#### ・日本語習得状況

日本の幼稚園に1年間通っており、日本語を使って友達や教師と簡単な日常会話はできる。しかし、両親共に日本語の会話があまりできず、家庭ではベトナム語中心の生活を送っている。しかし、家庭の事情により母語のベトナム語で両親と話す時間も限られており、児童の拠り所となる言語は、母語であるベトナム語より日本語による部分が多い。現在の日本語の習得状況は、聞く力(自分がじかにふれる日常場面以外の日本語を理解しようとしたりできる)、話す力(幅広い生活場面で日本語を進んで使用しようとする)などの点で伸長している。しかし、1年生の国語や算数の授業になると、学習の流れに沿って内容や概念を理解したり、それに対して自分の考えを日本語で表現したりすることはあまりできない。

#### ・在籍学級での学習参加の様子

本来大変明るい性格であり、体育・生活科・音楽などでは活発に活動できている。算数や国語などの教科学習では、発問に対して他の児童がほとんど挙手できている時、自分だけ挙手できていないことに気づき不安な表情を示すことがある。分からないことを説明する力がまだ育っていない今、その不安が原因で集中できず意欲が低下し、手遊び等をしてしまうことがある。

#### ・学習環境等

宿題であることを自覚し、やり方がわかっている場合は忘れずきちんとやってくる。両親も学校を信頼し協力的であるが、日本語を家庭で教えたり宿題を手助けすることはできず、学校での指導でお願いしたいという意向である。

B児 第1学年 国籍（ベトナム） 母語（ベトナム語） 在籍年数（8ヶ月）

・日本語習得状況

両親共にベトナム国籍である。日本で生まれ生活してきたことで日常会話はできる。しかし、両親共に日本語の会話がほとんどできないので、家庭においてはベトナム語中心の生活を送っている。まだまだ日本語の語彙数は少ないが、生活言語は日本語による思考が中心になってきているようである。ただ、心情を育てる家庭生活がベトナム語中心という言語環境により、在籍学級の他の児童と比較した場合、日本語を通して心情を理解したり伝えたりする力が十分育っているとは言えない。

・在籍学級での学習参加の様子

指示されたことをよく守り、何事も進んでしようと頑張れる。身のまわりの整理整頓も上手である。自分のことをできない子だと他の児童や教師が思っていると疑った時や失敗を指摘された時など、急にやる気を無くして相手を無視し一切話さなくなってしまうことがある。1学期中は学習面で他の児童とあまり差はなかったが、国語科の学習で内容や心情を読み取ったり、算数科で概念の理解が必要になった時など、授業の流れについていけない場面が少し見られるようになってきた。

・学習環境等

本人が喘息がみで学校を休む時は、母親が必ず仕事を休んで世話をしている。その点日本で暮らしていても母語との関わりは多い。宿題は児童が授業で理解していて、それを復習するという場合は確実にできている。両親は宿題を教えることができないので、できるだけ学校で理解させ、自分の力でできるように配慮している。最近ベトナム語のできる隣人が転居し、学習面や生活面等の連絡や依頼の返事が届きにくくなってきている。

## 5 目 標

- |       |                                     |
|-------|-------------------------------------|
| 単元の目標 | ・曜日の漢字、日付の呼び名を理解し、正しく読み書きができる。      |
| 第1時   | ・それぞれの漢字の意味を考え、曜日の漢字を正しく読み書きできる。    |
| 第2時   | ・日付の呼び方と漢字表記の仕方を理解し、正しく読み書きできる。(本時) |
| 第3時   | ・一月のカレンダーを作る。                       |

## 6 日本語指導の目標

- ・ 「日月火水木金土」をリズムよく音読練習することを通して、曜日の呼び方に親しむことができるようにする。
- ・ 日付の呼び方を一斉読み、指名読みを通して、正しい呼び方ができるようにする。
- ・ 身の回りのカレンダーの月・日・曜日を読むことを通して、生活と結びつけて定着させる。

## 7 学習活動 (全3時間 本時第2時)

○活動方法 先行取り出し

○準備物 漢字カード ワークシート カレンダー

8 展 開

	学 習 活 動	支 援 ●AU ○教科	各局面におけるのばすべき国語力・日本語力
体 験	1. 前時の学習をふりかえり、本時の学習のめあてをつかむ。	○前時に学習した「日・月・火・水・木・金・土」の漢字の呼び方を想起させる。 ●カレンダーを見せ、曜日が順番通りに並んでいることを説明し、リズムによって表現できるようにする。	○「日→にち」「月→げつ」「火→か」「水→すい」「木→もく」の新しい呼び方と前時で学習した「金→きん」「土→ど」の呼び方を、ワークシートに書く。
	【めあて】 カレンダーで ともだちのたんじょう日の 月・日・よう日を 見つけよう		
探 求	2. 「一日～十日・二十日」の呼び方について考える。 (1) 「二～七・九・十」の数え方をもとに日づけの呼び方を考える。 (2) 「一・二十」に日をつけた場合の特別な呼び方について知る。	●漢字カードを見せ、既習の呼び方を練習させた後、日をつけた場合の呼び方を予測させる。 ○予測した読み方をもとにして、「二～七・九・十」に日をつけた場合の呼び方の特徴に気づかせ、読み仮名をつけさせる。 ○(1)の特徴とは別に大和言葉が今に残って使われている特別な呼び方について説明する。	○既習の呼び方を使って、日付を呼ぶ。 ○「二～七・九・十」に日をつけた日付の呼び方で日付を呼ぶ。 ○「一・二十」に日をつけた特別な呼び方で日付を呼ぶ。 ○学習したことを日付カードに書く。
発 信	3. 日付、曜日の呼び方に注意して誕生日の月日、曜日を読む。	●カレンダーで自分や友達の誕生日の月日、曜日を探させ、習った呼び方で表現できるようにする。	○カレンダーに書かれた自分や友達の誕生日を探し、作った日付カードを使って月日、曜日を呼ぶ。

評価

国 語 曜日や日付の漢字を、正しく読んだり書いたりすることができる。

日本語 カレンダーなど身近なものに興味を持ち、漢字と関連づけて表現することができる。

9 語彙と文字

語 彙 一日・二十日

新出漢字 金・土・年